

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

65

2021/06



感染防止対策を徹底した上で 発熱患者さんの対応を行っています



Zoom Up!
OozuchuoHospital



【当院における新型コロナウイルス感染症対策】

2019年12月に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、またたく間に中国全土に拡がり、その後、全世界に拡大しました。日本においても、2020年1月16日に初めての感染者が確認されて以降全国に拡がり、未だ終息の兆しが見られません。このような状況下で、患者さんや医療従事者を発端としたクラスターが発生し、一時的な機能停止を余儀なくされた病院も少なくありません。病院における感染防止対策の徹底は、患者さんを感染からお守りしつつ通常の医療を提供するためにも、とても重要な課題です。

今号は、当院における新型コロナウイルス感染症対策についてご紹介します。

外来診療部門での取り組み

〈来院された方全員の体温測定、マスク着用、手指消毒〉

当院では、昨年4月から外来受付の時間帯には職員が正面玄関入り口に常駐し、来院された

方全員の体温測定とマスク着用を確認させていただくと共に、手指消毒を行った上で入館して頂くようお願いをしています。また、各科受付にも擦式アルコール消毒剤を設置し、受診や検査前後にも手指消毒が行えるようにしています。

〈総合受付・外来の感染対策〉

総合受付や各科受付のカウンター、中央処置室内の採血カウンターには、飛沫感染防止対策としてアクリル板を設置しています。また、総合待合室や外来待合室の座席には、密にならないように1席ずつ開けて座って頂くよう表示を行うと共に、座席は午前・午後消毒用クロスで清拭し、換気も定期的に行っています。

〈発熱外来〉

当院は、新型コロナウイルス感染症の患者さんの入院受け入れは行っていませんが、発熱外来を開設しています。発熱外来を受診される方々へのご案内は、正面玄関前に設置した大きな看板に分かりやすく表示しています。



玄関前の看板

発熱や咳、倦怠感などの症状がある患者さんは、まずは電話で受診相談をして頂き、職員が詳しい症状をお聞きした上で、来院して頂くようにしています。発熱外来は、通常の外来診療や救急対応との交差を避け、出来るだけスムーズに対応するために、午前・午後の決まった時間帯に来院して頂くようお願いしています。患者さんが病院に到着されたら、自家用車で来院の場合は専用スペースに駐車、お車でない場合は専用の待合室にご案内し、そちらで待機して頂きます。その後、看護師が再度電話で詳しい症



入館される皆さまに
体温測定、手洗い、マスク着用のご案内をしています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【当院における新型コロナウイルス感染症対策】

状をお聞きした上で、診察を行うようにしています。対応する職員は、防護具の正しい着脱を訓練した上で、マスクやフェイスシールド、手袋、ガウンを装着して患者さんに接します。診察終了後の会計も、職員がお車まで出向き待機場所で済ませることで、一般診療の患者さんとの交叉を回避するように配慮しています。

〈救急患者の対応〉

救急で来院される患者さんの中には、発熱など新型コロナウイルス感染症と類似している症状の方もいらっしゃいます。患者さんやご家族から移動歴や濃厚接触歴などを確認しつつ、必要時は医師の診断のもとに新型コロナウイルス抗原検査を行い、速やかにトリアージが行えるようにしています。

入院病棟での取り組み

〈面会制限〉

現在、入院患者さんを感染からお守りするために、面会は原則禁止とさせて頂いています。患者さんの着替えなどに関しては、事前にご連絡を頂いた上で総合受付での受け渡しを行うようにしていますので、その際に病棟看護師が患者さんの様子をお伝えするようにしています。

〈オンライン面会の導入〉

看護師から入院中の患者さんのご様子をお伝えするようにしていますが、やはり顔を見られないことでのご心配は残るものです。そこで、患者さんやご家族のご不安やご心配を少しでも軽減す

るために、昨年12月からオンライン面会を開始しました。事前予約を行った上でご家族に来院して頂き、外来別室のパソコンと病棟のタブレット端末をオンラインで繋いで面会をして頂きます。短時間ではありますが、お互いにお話をされたり、お話が難しい方にも顔を見て声をかけて頂くことで、患者さんの様子が分かって安心したというお声を頂いています。また、退院後の自宅での生活を具体的にイメージできるように、リハビリの様子をタブレット端末で撮影して、ご家族に見ていただく取り組みも開始しました。



オンライン面会

〈患者さんにも手指消毒の推進〉

当院は、全病室の入口に擦式アルコール消毒剤を設置しており、職員はもとより、患者さんにも病室への出入りの際の手指消毒をお願いしています。また、リハビリ訓練室は入院患者さんや外来患者さんなど多くの人が交叉するエリアですので、訓練室でリハビリを行う患者さんには、リハビリ前後に必ず手指消毒を行って頂いています。



病室前に擦式アルコール消毒剤を設置

〈換気の徹底〉

全ての病室には、全熱交換器という換気システムが導入され、24時間換気を行っています。このシステムは、室内の温度を逃がさずに換気できるシステムで、個室は約20分間、4人部屋は20～40分間でほぼ全ての空気を入れ替えることが出来ます。また、廊下の窓も定期的に開放し、常に換気を行うようにしています。

職員の感染防止対策

〈体調の管理〉

全職員が日々の健康管理を行うと共に、出勤時には体温測定及び体調確認を行っており、少しでも症状がある場合には業務を休んで受診するようにしています。職員自身はもとより、同居家族に体調変化があった時にも、各部署管理者に報告し対応するようにしています。また、同居家族の県外への訪問や県外からの来客に関しても、書面での報告体制をとることで、病院内に感染症を持ち込まないよう細心の注意を払っています。

〈感染防止対策の徹底〉

新型コロナウイルス感染症は、飛沫と接触によって感染が拡大すると言われていますので、最も重要な感染対策は、「手指衛生」と「咳エチケット（マスク着用）」です。当院では、接触感染防止対策としてWHO（世界保健機関）の「手指衛生の5つのタイミング（①患者に触れる前、②清潔/無菌操作の前、③体液に暴露するリスクの後、④患者に触れた後、⑤患者周辺の物品に触れた後）」に沿った手指消毒の遵守に取り組んでいます。また、飛沫感染防止については、全職員マスクを正しく装着して業務を行っています。これらの感染防止対策は、院内感染防止対策セミナーでの研修と共に、毎週ICT（感染防御チーム）のメンバーが院内ラウンドで実践状況を確認して、必要時は現場での指導を行い、徹底を図っています。

〈会議・研修の感染対策〉

10名以上の会議は、密を避けるために座席間隔を広くすることができる研修室で開催しています。会議中も換気を行い、会議終了後にはテーブル等のアルコール消毒を行っています。研修に関しては、人数制限をする或いは講義内容をビデオ撮影し各自で学習できるようにするなどして、集団での受講を減らすようにしています。

〈食堂・休憩室・更衣室の感染対策〉

職場内クラスターの発生要因のひとつとして挙げられるのが、食堂や休憩室での感染です。食事中は、マスクを外しますので、近距離で会話すると感染のリスクが高まると言われています。当院では、昨年4月から職員食堂の椅子の配置と数を調整して対面式を止め、食事時間を分散すると共に食事中は会話をしないようにしています。各フロアの休憩室も、対面にならないようなレイアウトに変更し、休憩中でも食事中以外は常にマスクを装着して過ごしています。また、多くの職員が交叉する更衣室は、入り口に擦式アルコール消毒剤を設置し、手指消毒を行ってから入室するようにしています。



食堂のテーブル配置

先月から、医療従事者や高齢者に対して新型コロナウイルスワクチンの接種が開始されました。その一方で、県内でも変異ウイルスによる大規模クラスターの発生のニュースが続いています。Withコロナの時代と言われて既に一年が過ぎましたが、この新しい生活様式はまだしばらく続くことが予測される状況です。このような中、治療中の慢性疾患をお持ちの患者さんが「病院でコロナに感染するのがこわい」と、かかりつけ医への受診を控えることが問題になっています。ご心配もあると思いますが、受診をせず内服を自己中断したりすることで病状が悪化し、万が一新型コロナウイルスに感染したときに、より悪い結果を招くことにもなりかねません。当院では、患者さんが安心して受診・入院ができるように様々な取り組みを行っておりますので、どうぞ安心して受診して頂きますようお願いいたします。

当院の新型コロナウイルス感染症対策についてご紹介いたしました。これらの感染防止対策を徹底できるのは、手指消毒や面会制限へのご理解など、患者さんやご家族及び全ての病院関係者の方々のご協力の賜物です。皆さまのご協力に心より感謝を申し上げますと共に、今後も地域住民の方々に安心して医療を受けて頂けるよう、職員一丸となって感染防止に努めてまいります。

からだに効く
レシピ

Point!

予熱でも火が入るので
アスパラは少し固めで
ざるに上げましょう。

大洲中央病院栄養科

ミモザサラダ

■材料 (2人分)

グリーンリーフ……………2枚
アスパラガス……………4本
スナップエンドウ……………6本
はるか……………1個 (その他お好みの晩柑類でも良い)
卵……………1個
生ハム……………2枚
マヨネーズ……………大さじ1
ヨーグルト……………大さじ1
塩、こしょう……………少々

■作り方

- ①卵を固ゆでにし、白身と黄身に分けてざるで裏ごしする。
- ②グリーンリーフは食べやすい大きさにちぎる。
- ③アスパラガスの根本の皮をむき、スナップエンドウの筋を取る。アスパラガス、スナップエンドウを1分半～2分ほど塩ゆでし、ざるに上げて冷ます。ゆでたアスパラガスを4cm幅に切る。スナップエンドウは2本分を半分に裂く。
- ④はるかの果肉を取り出す。
- ⑤マヨネーズソースを作る。マヨネーズ、ヨーグルトを合わせて塩、こしょうで味を調える。
- ⑥具材を皿に盛り付けて出来上がり。

すぐそばにある絵画
院内美術館
31

『カバリエ』
カシニョール作

女性の内面の陰陽を
優雅で魅力的に表現する

今回ご紹介するのは、3Fエレベーター横にある、エレガントな女性像を描く個性的な作風で、ポリシヨイ・バレエ団の衣裳と舞台装置を手掛けるなど、新しい分野にも精力的に取り組む、カシニョールの『カバリエ』。柔らかな描写と、気品高くそして官能的に描かれた女性の仕草や表情が、とても印象的。

カシニョール / 1935年パリ生まれ / ジャン・スヴェルビに師事。1969年東京・三越百貨店にて個展。1970年アメリカ、ウォーリー・フィンドレー画廊にて個展。

次号は、カシニョール『アンバーサリーII』をご紹介します。

基礎看護学実習を終えて

令和3年2月12日から8日間、人間環境大学松山看護学部の学生5名を受け入れ、基礎看護学実習IIを行いました。基礎看護学実習IIは、これからの各領域実習に向けて基礎的能力の修得を図る大切な実習です。実習初日は、患者さんと何を話したらいいか戸惑う様子もありましたが、情報収集を行い、実際に患者さんと関わっていく中で、毎日に自信を持って患者さんと接することができるようになりました。患者さんもいつもとは違う表情や発言があり、実習前より笑顔が増えたように感じました。毎日のカンファレンスでは、看護学生ならではの視点からの気付きや意見もあり、私達も日々の看護を振り返る良い機会となりました。コロナ禍ではありますが、体調管理や感染防止対策をしっかりと行い、無事に実習を終了することが出来ました。快く実習を受け入れて下さった患者さんやご家族の皆さまに心より感謝申し上げます。今後も看護学生と実習受け入れ先の双方にとって、より良い実習が出来るよう努力してまいります。



本館3階病棟主任 太田 まり子

防災点検を実施しました

2月22日～3月8日に防災点検を実施しました。コロナ禍における感染対策のため、開催日や参加人数の上限を設けた上で、施設管理職員の案内の下、防災設備の設置場所や使用方法などの説明を受けました。当院の消火器や火災報知器が数種類あることや、スプリンクラーの止め方など知らないことも多く、また、普段働いている時には気に留めていなかった場所に防災設備が完備されていることにも気付きました。職員として患者さんやご家族、また自分自身の安全のためにも、どこにどのような設備があり、どのように使用するかを理解し、有事の際には迅速に動くことが出来るようになる必要があります。最近では感染症対策に視点がいき、防災に対する意識が疎かになりがちですが、こういう時期だからこそ一人一人が防災意識をしっかりと持つことが大切です。今回の防災点検では、多くの職員が防災を意識する良い機会となりました。



医事課 長平 朋佳

愛媛県作業療法学会で研究発表を行いました

2月7日に第21回愛媛県作業療法学会が開催されました。今回の学会は、コロナ禍の感染拡大防止の観点からWeb形式での開催となりましたが、県内の作業療法士67名の参加がありました。学会では、日本作業療法士協会会長の講話や症例報告があり、多くの気付きや学びが得られました。

今回、私は訪問リハビリを通じて、多くの利用者さんやそのご家族と関わってきた経験から、在宅で介護を行うご家族の支援に関する研究「家族介護者の介護負担感と作業機能障害との関係性」を発表し、奨励賞を受賞しました。

今後も、積極的に学会や研修会へ参加することで知識と技術を高め、利用者さんの生活がより良いものとなるよう、お手伝いさせて頂きたいと思っております。そして、大洲中央病院の訪問リハビリテーションの存在や取り組みを多くの方に知っていただき、在宅での生活や介護に困っている方やリハビリが必要な方に、私たちのリハビリを届けることが出来るよう努めてまいります。



介護事業部 福田 修治

外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 賢之	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 賢之	大久保啓二
	2診	岡本 傳男		岡本 傳男	井上 明子	岡本 傳男	岡本 傳男
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 賢之	大久保啓二	非常勤
	4診	浅川 建史		清家 愛理	清家 愛理	愛大医師	浅川 建史
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明		栗田 英明	栗田 英明	愛大医師	藤澤 圭史
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治		清水 公治	清水 公治	清水 公治	
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	西川 真弘	重川 誠二 末廣 諭 (隔週)	橋本 尚樹(第1) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	西川 真弘		西川 真弘	西原 潤		西原 潤
形成外科						森 秀樹(第1-3-5) 泉本真美子(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日(6～7月) 救急診療のみ…7月23日(金)
休診日…火曜、水曜、7月22日(木)、7月23日(金)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後5時30分
(新型コロナウイルス感染予防のため変更になる可能性がありますので、事前にお問い合わせください。)

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
(日は18:00まで)
- 日曜日…市立八幡浜総合病院(18:00～)
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院(昼)、
喜多医師会病院(夜)
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、
市立八幡浜総合病院(夜)

編集後記

新型コロナウイルス感染症対策のための自粛生活も長くなりました。自宅での過ごし方を改めたり、新たな趣味を見つけたり、何かに挑戦したりしている人も多いのではないのでしょうか。

私は、外出して美味しいものを見つけては食べて、綺麗な景色や建物を観るのが大好きだったのですが、今は我慢の日々です。それでも、家の中で出来る新たな趣味を模索しつつ、この状況が終息したら行きたい場所をピックアップして下調べをしながら、その日を想像して楽しんでいます。この新たな状況を「我慢」と捉えるか、「発見ができて楽しい」と感じるかは人それぞれです。

私は、今号から広報委員会の一員となりました。皆さんに喜んでいただける情報を発信できるよう、楽しみながら活動をしていきたいと思っております。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院
編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /
京河 雅史(放射線科長) / 竹岡 照枝(看護師長)
道休 由佳里(看護師長) /
木村 優志(リハビリテーション科) /
大西 修平(リハビリテーション科) /
藤岡 真里子(栄養科) / 黒田 都(医事課主任) /
丸鬼 宏美(総務課)



社会医療法人 北斗会
大洲中央病院

